

令和4年 第3回

区づくり推進横浜市議員会議

会議資料



中 区

中区区づくり推進横浜市議員会議

目 次

議 題

- (1) 令和3年度中区個性ある区づくり推進費決算状況について……………P1
- (2) 令和3年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績について……………P3
- (3) 令和4年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況について…P18
- (4) 令和5年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方について……………P33
- (5) その他

令和3年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

1 総括表

(単位：円)

予算区分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A - B)	執行率
(1) 自主企画事業費	101,960,000	96,966,846	4,993,154	95.1%
(2) 統合事務事業費	53,295,000	49,493,672	3,801,328	92.9%
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	430,361,000	432,834,681	△ 2,473,681	100.6%
合計	585,616,000	579,295,199	6,320,801	98.9%

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位：千円)

施策	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A - B)	主な事業、実施内容
1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり (8事業)	19,247	15,636	3,611	地域防災力向上事業 減災行動啓発、災害時担い手育成、防災訓練・災害対策の各事業を実施 食の安全・安心事業 食品取扱施設に対する衛生監視や感染症予防対策の啓発を実施、食品取扱業者向け講習会を開催
				差引の主な理由 【地域防災力向上事業】で防災フェアを中止したことによる残
2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり (6事業)	24,004	17,218	6,786	中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業 第4期計画策定を進めるとともに、地域支援チームによる地域活動を支援 みんなでSTOPザ虐待 乳幼児健診の充実、育児を学ぶ教室・講座の実施、学齢期家庭への支援 地域包括ケアシステム推進事業 高齢者の地域交流促進、介護予防活動推進、認知症介護者支援等を実施
				差引の主な理由 【みんなで子育て事業】で業務委託の入札に伴う契約残
3 多文化共生のまちづくり (3事業)	18,343	14,984	3,359	多文化共生まちづくり事業 第2期中区多文化共生推進アクションプラン冊子及び概要版作成、多文化交流イベントの実施 多文化交流事業 なか国際交流ラウンジを中心に、外国人市民の支援及び多文化共生の地域づくりの推進
				差引の主な理由 【多文化共生まちづくり事業】で事業手法の変更や局予算対応による残
4 地域の活力があふれるまちづくり (8事業)	21,051	17,346	3,705	スポーツ・青少年事業 インクルーシブスポーツ、スポーツによる健康づくり、青少年の健全育成の推進 まちづくり推進事業 よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図・スポーツ版の作成、「まち・川の魅力再発見イベント」の実施、長者橋歴史案内板製作の設置 にぎわい・魅力アップ事業 中区って「イイネ！」フォトコンテスト2021の開催
				差引の主な理由 【にぎわい・魅力アップ事業】でハローよこはま開催見合わせによる残
5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり (3事業)	19,315	31,783	△ 12,468	利用しやすい区役所づくり事業 安心・快適で利用しやすい区庁舎への改善事業を実施
				差引の主な理由 【利用しやすい区役所づくり事業】でコロナ対策や庁舎改修委託費の増
合計	101,960	96,967	4,993	

注)各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

(2) 統合事務事業費

(単位：千円)

事業区分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
統合事務事業費	53,295	49,493	3,802	差引の主な理由 【広報よこほま発行事業】で入札に伴う契約残
統合事務費	37,609	37,336	273	
統合事業費	15,686	12,157	3,529	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

事業区分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
区庁舎・区民利用施設管理費	430,361	432,835	△ 2,474	差引の主な理由 区庁舎及び区民利用施設における修繕の増
区庁舎等管理費 (光熱水費等管理費を含む)	113,491	114,673	△ 1,182	区庁舎(本館・別館)、中土木事務所、区民活動センター
公会堂管理費 (光熱水費等管理費を含む)	26,867	23,140	3,727	開港記念会館
地区センター等管理費	103,159	103,898	△ 739	地区センター(3)、集会所(1)
ログハウス管理費	7,977	7,977	0	こどもログハウス(1)
老人福祉センター等管理費	41,371	41,371	0	老人福祉センター(1)
コミュニティハウス管理費	71,750	71,750	0	コミュニティハウス(6)
区スポーツセンター管理費	49,334	49,334	0	中スポーツセンター(1)
区庁舎・区民利用施設修繕費	4,353	8,673	△ 4,320	区庁舎等、区民利用施設の修繕
その他 (国際交流ラウンジ・遊び場)	12,059	12,019	40	国際交流ラウンジ(1)、子どもの遊び場(6)、町のはらっぱ(1)

注)各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

令和3年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績

1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり ※下線が引かれている部分は、新型コロナウイルスの影響によるものです。

事業名		事業内容
1 地域防災力向上事業		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図りました。区民の自助・共助の意識醸成のため、減災に関する啓発や防災訓練を実施するほか、避難所等での感染症対策を継続して取り組みました。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域及び企業等に対する減災支援（減災説明会19回、防災まち歩き（11月21日本町小）） イ 中区総合防災フェア【中止】 ウ 防災講演会（オンライン開催（3月29日～4月4日）） エ マリンFM（通年）や広報よこはま（9月号特集（在宅避難）、防災食コラム5回）等を活用した地震・風水害対策等の啓発の発信 <p>(2) 災害時の担い手育成事業</p> <p>小中学生に対し防災出前教室を実施し（7月12日仲尾台中、10月20日元街小、1月20日横浜吉田中、※11月19日港中【中止】）、中学生には「地域防災拠点支援ガイド」（日英中）を活用した啓発を推進</p> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> 情報受伝達訓練（1月17日）、帰宅困難者対策会議（11月22日）、風水害時における福祉避難所開設訓練（6月17日）を実施 イ 地域防災拠点の充実及び訓練の実施 ウ 本部体制の充実及び災害対応 <ul style="list-style-type: none"> （ア）避難所等の感染症対策のための資機材（パーテーション）を整備 （イ）情報受伝達手段の多重化（マリンFM緊急割込放送等） <p>※予算残の理由：新型コロナ流行に伴う防災フェア中止による委託費の残等</p>
地域防災拠点訓練の様子		
予 算 額	7,799千円	
決 算 額	5,780千円	
差 引	2,019千円	
所 管 課	総務課	

事業名		事業内容
2 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心に、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって防犯活動に取り組みました。</p> <p>活動の実施にあたっては、多くの人数が集まるキャンペーン等は中止し、地域に向けた情報発信を中心とした防犯対策を推進しました。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区民暮らし安全推進協議会総会の開催（5月・書面表決） イ 各種防犯キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> 街頭犯罪抑止対策早朝駅頭キャンペーン【中止】 ウ ハローよこはま2021へのブース出店【中止】 エ 寄席de防犯～地域の安全・安心な生活を考える集い～【中止】 オ 4警察・4防犯協会/防犯協力会・区役所合同会議 <ul style="list-style-type: none"> ※各行事が中止（議題なし）のため開催せず カ 地域自主防犯活動委員会の開催（各地区連防犯担当者会議）（11月17日）※例年は5回開催 キ 防犯啓発用のぼり旗の作成（150枚×2種類） <p>(2) 防犯情報配信事業</p> <p>各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール等を活用して配信</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業</p> <p>防犯活動費等の支援や防犯活動物品の貸与等を実施。 対象：地区連合町内会、防犯団体、小学校等 ※新1年生へ防犯ブザーを4月に配付（860個）</p> <p>(4) 防犯教室事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア こども防犯教室の開催（小学校、保育園等）【中止】 イ 高齢者防犯教室の開催（加賀町警察署）【中止】
防犯ブザー(新1年生に配布)		
予 算 額	2,364千円	
決 算 額	1,997千円	
差 引	367千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容	
3 放置自転車対策・交通安全啓発事業  令和3年度春の全国交通安全運動 中区キャンペーン (一日警察署長とスウィングー)		区内で多発する自転車・バイクの放置及び高齢者や自転車の交通事故の対策として、各警察署や地域等の関係団体と連携し、キャンペーン等の啓発活動を通して自転車等の放置防止と交通事故防止に取り組みました。 (1) 放置自転車対策事業 ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 長者町2丁目付近及び関内駅北口広場禁止区域拡大検討 イ 各キャンペーンへの参加：中華街、イセザキ・モール【中止】 ウ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び協力(随時) エ 放置自転車等移動要望への対応 (2) 交通安全啓発事業 ア 中区交通安全対策協議会への支援 ・春の全国交通安全運動中区キャンペーン(4月8日) 市役所アトリウムでのセレモニーをラジオ日本が収録・放送 イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用(中区交通安全対策協議会共催)(7月~12月) ウ スクールゾーン対策の実施 エ 各団体への補助金交付(5月~7月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 保護者向け自転車マナー啓発リーフレットを保育園・幼稚園に配布(4月~7月) ク 区役所のデジタルサイネージに自転車マナー啓発を掲載(7月) ケ 中区内のサイクルショップに自転車ルール啓発チラシ配布(11月) <参考>(道路局区配付予算) ・放置自転車等監視業務の実施 ・スケアードストリート(プロのスタントマンによる交通事故再現)方式による交通安全教室の中学校での開催【中止】	
	予 算 額	1,578千円	
	決 算 額	1,400千円	
	差 引	178千円	
	所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容	
4 ヨコハマ3R夢プラン推進事業  中華街クリーンアップ(11月)		ごみと資源の総量を21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」達成に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進に取り組みました。またその活動にあたり三密を避ける等、新型コロナウイルス感染症の対策に最大限の注意を払いました。 (1) ヨコハマ3R夢推進活動 ア 中区役所1階分別相談窓口(毎月2回) イ 区庁舎内に設置する資源回収ボックスによるごみの資源化・減量化(小型家電(480台)、リユース文庫(3,180冊)、水銀含有製品回収(122個)等) ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与【実績なし】 (2) 中区クリーンアップDAY 区民・事業者・ボランティア団体による清掃活動 新型コロナのため、従来の一斉清掃とせず団体ごとに分散して実施(延べ約1,350人) (3) 美化運動支援事業 まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援 (4) まちの美化対策事業 ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ(5回、延べ約220人) イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策を実施 ウ 外国人への啓発として分別講座の実施、施設見学会【中止】 (5) 美化推進者表彰 まちの美化推進に貢献した個人及び団体へ区長感謝状贈呈(3月23日、個人7人・11団体) (6) 温暖化対策事業 打ち水キャンペーン及び打ち水用具の無料貸与【中止】	
	予 算 額	2,236千円	
	決 算 額	1,480千円	
	差 引	756千円	
	所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
5 初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業  防犯パトロール		<p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、都市整備局、文化観光局、市民局と連携しながら、地元協議会の活動に対する補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を行いました。</p> <p>また、まちの活性化には更なる活動の参画者・担い手を増やしていただくことが重要であるため、地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に関わる団体だけではなくアーティストとも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川周辺の環境改善など、各テーマに沿ったまちづくり活動を行いました。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 協議会定例会等の開催（総会1回、定例会9回、役員会8回等） イ 防犯啓発活動イベント等の開催（防犯パトロール、清掃活動、防災訓練等） ウ 広報活動（まちづくりニュースの発行（計3回）、啓発イベント実施（11月21日）） <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 協議会等に係る各種会議の運営・開催支援 イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援 ウ まちづくりに関するイベント、ワークショップ等の企画立案 エ 地域活動に係る広報活動の支援（まちづくりニュースの編集、ホームページ運営支援等）
	予算額	2,000千円
	決算額	1,996千円
	差引	4千円
	所管課	区政推進課

事業名		事業内容
6 花いっぱい明るい まち事業  プランターへの花植え・維持管理（花咲町）		<p>本事業では、区民（自治会、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行いました。</p> <p>また、夏場の省エネや温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置や、種まきイベントを開催しました。</p> <p>さらに、オリンピック・パラリンピックの機運の向上、市民等へのPRを図るため、開港広場公園にイベント対応花壇を設置し、維持管理を行いました。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 花苗提供（1,800株） イ プランター設置・維持管理（11箇所） 実施箇所 花咲町（音楽通り交差点付近）、本牧埠頭交番前、長者町（長者町5丁目交差点付近）、西の橋、打越橋山手駅、開港広場公園、鷺山公園、山下町公園、柏葉公園、竹之丸（竹之丸保育園付近） ウ 種まきイベント（春・秋）（6箇所） 実施箇所 錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園 エ 花緑のカーテン設置（4箇所） 実施箇所 山手保育園、横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所 <p>(2) 普及啓発事業 園芸講習会【0回（年）】</p> <p>(3) イベントおもてなし事業 イベント対応花壇の設置（開港広場公園）</p>
	予算額	1,250千円
	決算額	1,022千円
	差引	228千円
	所管課	中土木事務所

事業名		事業内容
7 食の安全・安心事業		<p>食品取扱施設に対する効果的な監視指導及び従事者や消費者への情報発信等により、食中毒の発生を抑え、再発を防止しました。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保支援事業</p> <p>ア 食品取扱施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的な監視指導 監視指導件数 (3,026件)</p> <p>(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導 事前指導件数 (75件)</p> <p>イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援 資料の郵送 (278件、9月～4年2月)</p> <p>ウ 新型コロナウイルス等感染症の予防対策 食事を伴う施設への資料の郵送・配布の実施 ポップ (3,000枚)、リーフレット3種 (5,000枚)</p> <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業</p> <p>ア 食品衛生講習会等 食品取扱業者向け講習会の開催 (25回、参加人数：832人) (中華街向け講習会 3回、164人を含む)</p> <p>イ 区民向け啓発 区庁舎本館広告モニター等での動画上映 (6月～12月)、別館でのパネル展示 (4月～4年2月)、広報よこはまなか区版への掲載 (7月号、11月号)</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン 区内協力店舗での消費者への啓発、アンケート実施 (9月) (協力店舗：510施設、参加人数：400人) ※飛鳥Ⅱキッズツアー、ハローよこはま啓発ブース、イセザキモールパレード【中止】</p>
予 算 額	1,205千円	
決 算 額	1,200千円	
差 引	5千円	
所 管 課	生活衛生課	



中華街向け多言語講習会

事業名		事業内容
8 動物適正飼育推進事業		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組みました。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施しました。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場における、獣医師会と連携した犬の飼い主への啓発【中止】</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントにおける、獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携した来場者への啓発【中止】</p> <p>ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等における、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携した、散歩中の飼い主への啓発、指導 (3回実施)</p> <p>エ 飼い主向け啓発動画の作成・公開 (9月)、広報よこはまなか区版への記事掲載 (3月) による、適正な飼い方の知識の普及</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業</p> <p>ア ペットの飼い主や地域防災拠点関係者等を対象とした、健康福祉局作成の動画による啓発 (5月)</p> <p>イ 地域防災拠点の取組支援</p> <p>(ア) 拠点訓練でのペット同行避難に関する展示や同行避難訓練の実施について提案、支援 (10月、1拠点 (仲尾台中学校))</p> <p>(イ) ペット同行避難の検討にモデル拠点として取り組んだ大鳥小学校地域防災拠点等の検討成果 (飼い主の会運営マニュアル等) を、これから検討に取り組む拠点が参考にできるよう、区ホームページに掲載 (3月)</p>
予 算 額	815千円	
決 算 額	761千円	
差 引	54千円	
所 管 課	生活衛生課	



飼い主向け適正飼育啓発動画

2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業  <p>「中なかいいネ！ウィーク」の開催（2月）</p>		<p>誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるようなまちづくりを目指し、第4期中区地域福祉保健計画を住民との協働で策定しました。</p> <p>(1) 第4期計画（3年度から7年度まで）の策定</p> <p>ア 区域計画と地区別計画の策定 13地区それぞれの特色に応じた「地区別計画」と区民意見募集結果を反映した「区域計画」を策定。</p> <p>イ 計画冊子の作成 区民への周知のため、「全体版」と「概要版」を作成し、地域ケアプラザ等のイベント配布や区内市民利用施設へ配架</p> <p>(2) 第4期計画の推進</p> <p>ア 中なかいいネ！推進会議の運営 第1回区推進会議【9月書面開催】、第2回【中止】</p> <p>イ 地域支援チームによる13地区の支援 区社会福祉協議会、地域ケアプラザと連携し、各地区の計画の取組を支援。地区担当課長向け研修を実施（11月9日、20人）し、中区・瀬谷区・市民局の共同で地域支援研修動画を作成</p> <p>ウ 計画推進のための普及啓発 「中なかいいネ！発表会」の開催を【中止】。代わりに「中なかいいネ！ウィーク」（2月14～28日）を開催し、区社会福祉協議会・地域ケアプラザや図書館と連携し、健康体操やマルシェなど関連イベントを実施し、PRグッズ及び計画冊子を活用して計画を周知</p> <p>エ 地域人材の育成 地域活動者を対象に地域人材育成ワークショップ（もっとみんなの「中なかいいネ！」講座）を開催（12月10・20日）</p> <p>※予算残の理由：計画冊子仕様変更、計画デザイン委託の入札結果に伴う残</p>
予算額	5,643千円	
決算額	4,238千円	
差引	1,405千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
2 健康アシスト事業  <p>令和3年度妊娠糖尿病対策事業</p>		<p>けんしん啓発や栄養等の健康に関する啓発を実施しました。新型コロナウイルス対応のため多くの事業を中止しました。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業 健康測定（体組成等）や食生活指導等を実施し、生活習慣を振り返り、生活習慣病予防の大切さや効果を認識するきっかけを作りました。</p> <p>ア 4か月児健康診査会場での健康測定（20回実施240名参加）</p> <p>イ 地域の会場やグループへの出前講座等（6月22日実施19名参加）</p> <p>ウ 保健活動推進員向け測定機器取扱研修（7月20日実施19名参加）</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業 子育て支援拠点とウォーキング講座を開催（6月18日17名参加） 保健活動推進員向けの講座及びウォーキング冊子の改定を【中止】</p> <p>(3) 中区健康づくり月間事業（元気フェスタ21）【中止】</p> <p>(4) けんしん啓発事業 けんしん受診率の向上のため、保健活動推進員等の関係団体と連携し、がん検診や特定健診の受診啓発を年間通じて行いました。</p> <p>(5) 妊娠糖尿病対策事業 妊娠糖尿病の罹患者に対し健康教育を実施しました。 （12月3日6名参加）</p> <p>(6) 食育推進事業</p> <p>ア 年代別の個別食育相談や講座、イベントの開催 食育マルシェを実施（6月5日、152名参加）しましたが、就学前の親子向け食育講座を中止しました。</p> <p>イ 食育の従事者向けの研修、食育ネットワーク会議は中止しました。</p> <p>※予算残の理由 新型コロナ感染拡大に伴う事業中止による委託費等の残</p>
予算額	2,480千円	
決算額	1,412千円	
差引	1,068千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
3 地域包括ケアシステム推進事業  ふれあい作品展 (中区老人クラブ連合会主催)		<p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」(令和4年3月策定)に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援し、地域の交流・介護予防活動を支援します。 ア 老人クラブ連合会の行事支援(9月:老人福祉大会(関内ホール小ホール)、10月:グラウンドゴルフ大会(小港南公園)、12月:ふれあい運動会(横浜武道館)) イ 老人クラブへの加入促進(加入促進グッズ(収納式反射リュック)の配布) ウ 敬老月間事業(9月)</p> <p>(2) 介護予防事業 普及啓発カレンダーを作成(800部)し、介護予防を目的とした通いの場や地域ケアプラザ等で配布(10月)</p> <p>(3) 認知症支援事業 ア 介護者支援事業 ・臨床心理士相談の実施(年18回) ・介護者支援研修の実施(7月) イ 認知症サポーター企業等の認証</p>
	予算額	1,861千円
	決算額	1,715千円
	差引	146千円
	所管課	高齢・障害支援課

事業名		事業内容
4 障害児・者ネットワーク支援事業  横浜市の花「バラ」をイメージしたローズキャンドル(ポレポレグツ)		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくります。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。 ア 自立支援協議会の開催 イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催</p> <p>(2) ポレポレグツ推進事業 ポレポレグツ(障害者作業所製品)の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援します。 ア ポレポレグツカタログの更新・増刷(7月データ更新、1,000部印刷、中区自立支援協議会ホームページに掲載) イ 中区障害者団体連絡会に事業運営費を補助(4月) ウ 連絡会に設置されている販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会の開催支援(年6回) エ ポレポレグツの区役所内定期販売会支援(4月~第4金曜日開催)7月よりSDGsマルシェでも販売開始(7月13日、8月10日) オ プロスポーツチーム(横浜エクセレンス、Y.S.C.C)と連携したポレポレグツの販売(4月8日、6月1日・2日・24日、7月8日)</p> <p>(3) 障害理解推進事業 「共生社会の実現」(障害者差別解消法)に向け障害に対する理解を促進するため、地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。 ア インクルーシブスポーツ体験参加による障害理解の推進(5月29日) イ 区障害者団体連絡会主催のポレポレ祭りの開催(10月29日)</p>
	予算額	960千円
	決算額	888千円
	差引	72千円
	所管課	高齢・障害支援課

事業名		事業内容
5 みんなで子育て事業		<p>子育て中の方が身近な地域で安心して子育てできるように、また、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所や地域の資源や特性を生かして、地域での子育て支援を推進しました。</p> <p>(1) グランマ保育園 中区内保育所で絵本貸出、育児相談、施設開放を実施 実施24園、【中止12園】</p> <p>(2) 親子の保育体験 公立保育園3園【中止】</p> <p>(3) 育児支援ルーム 公立保育園で絵本貸出、育児相談、施設開放を実施(638組)</p> <p>(4) 外遊び応援事業 山吹公園(5月19日、22人)、本牧山頂公園(6月9日、36人) 本牧市民公園(10月13日、21人)、千歳公園(11月10日、28人) (計107人) <u>根岸森林公園(3月9日)【中止】</u></p> <p>(5) 保護者向け保育所等情報提供 「保育所等利用のしおり」(3,450部)を作成し、認可保育所、地域ケアプラザ等へ配布 ハローよこはまブース出展【中止】</p> <p>(6) おでかけスポットマップの作成 日本語版(4,000部)を作成し、掲載各施設及びこんにちは赤ちゃん訪問先、中区転入者に配布 カタログポケットにて多言語版を配信(閲覧263回)</p> <p>(7) 外国人向け両親教室、窓口案内等中国語通訳 ア 外国人向け両親教室【中止】 イ 窓口案内等中国語通訳(339件)</p> <p>※予算残の理由 窓口案内等中国語通訳委託の入札残等</p>
おでかけスポットマップ多言語版		
予算額	7,548千円	
決算額	4,927千円	
差引	2,621千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
6 みんなでSTOP ザ虐待		<p>安心して子育てができるよう、地域での見守り力づくりを推進しました。また、こどもや保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供しました。</p> <p>(1) 児童虐待対応力向上事業 スーパーバイザー(弁護士)を活用した事例検討会・研修を実施 (2回実施 23人)</p> <p>(2) 赤ちゃん学級 1歳未満の第1子の養育者を対象に、7会場(各会場年10回)にて仲間づくりや子育ての知識を得ることのできる教室を実施(計960人)</p> <p>(3) 乳幼児健診の充実 ア 乳幼児健診に保育ボランティアを配置(計72回) イ 未受診家庭の状況把握や情報提供を実施(訪問27回、電話264件)</p> <p>(4) 育児を学ぶ教室・講座 ア 概ね1歳未満で育児不安の強い養育者を対象としたベビーマッサージ教室を実施(8回、56人)【中止4回】 イ 発達障害児支援事業(10回、169人)【中止2回】 ウ 体罰等によらない子育て講座【中止】</p> <p>(5) 相談業務強化事業 児童扶養手当現況届等の手続に来庁する機会等を捉え、生活状況の聞き取りや各種手続の支援をきめ細やかに行うために相談員を配置</p> <p>(6) 学齢期家庭向け支援事業 ア こども自身が困った時にSOSを発信し、相談機関につながることを啓発するキャッピーの動画の作製及び配信 イ 啓発カードの配布 区内小中学校、主任児童委員、その他関係機関等へ5,184枚配布</p> <p>※予算残の理由 人材派遣委託料等の契約残等</p>
子ども向け児童虐待防止啓発動画を周知する啓発カード		
予算額	5,512千円	
決算額	4,039千円	
差引	1,473千円	
所管課	こども家庭支援課	

3 多文化共生のまちづくり

事業名		事業内容
1 多文化情報発信事業  <p>多言語広報紙</p>		<p>人口の約1割を占める外国人住民に対して多言語広報紙やホームページ等により、わかりやすくタイムリーに行政情報・地域情報を発信しました。また、3年度は、区民生活マップの英語版、中国語版を更新しました。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業 ア 発行回数及び発行部数 (ア) 「Naka Ward Town News」(英語版) 4回 各4,100部 (イ) 「春夏秋冬」(中国語版) 4回 各4,500部 (ウ) 「中区多言語広報紙」(日本語版) 4回 各1,000部 イ 特集内容 夏号(7月) 台風や大雨への備えについて 秋号(10月) 地域のイベント及び活動について 冬号(1月) ICTの活用について 春号(4月) 中区の歴史や特徴について</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業 ア 言語：英語、中国語、ハングル、やさしい日本語 イ 回数：月1回 ウ 内容：広報よこはま・なか区版掲載の特集・イベント情報抜粋、生活情報等、新型コロナウイルス感染症関連</p> <p>(3) 区民生活マップ作成事業 ア 言語：英語、中国語 イ 発行部数：各3,000部</p> <p>(4) その他 ウェルカムリーフレットの中国語繁体字版を作成しました。</p>
予算額	6,143千円	
決算額	5,708千円	
差引	435千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2 多文化共生まちづくり事業  <p>第2期多文化共生推進アクションプラン</p>		<p>日本人、外国人双方が地域の一員として安心して暮らせるまちづくりを進めていくために、多文化共生推進アクションプランの広報を通じて、多文化共生まちづくりの情報発信・意識の醸成を図りました。また、第2期アクションプランの基本目標に基づき、各課窓口へ翻訳機器を配置したほか、「地域とのつながりづくり」に向けた多文化交流イベントを実施しました。</p> <p>(1) アクションプラン事業 ア 第2期アクションプラン(3年3月策定)の全体版・概要版の作成 全体版500部、日本語概要版1万部、多言語概要版9,000部 イ 窓口への翻訳機器等の設置(国際局配布) タブレット通訳機4台、ポケトーク12台 ウ 支援団体(NPO)と連携した地域交流イベントの開催 (4年3月23日(水)、於：富士見川公園、参加人数約150名) 内容：アート、コマ・けん玉などの昔遊び、ボッチャ体験</p> <p>(2) 多文化共生調査事業 インターネットを利用した自前による調査を行い、第2期アクションプラン基本目標「基礎的な支援の充実」「地域とのつながりづくり」をテーマに他自治体が行う参考・先進事例の洗い出しを行いました。</p>
予算額	4,000千円	※予算残の理由
決算額	2,053千円	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業手法の変更や、翻訳機器等が局予算により配布されたことによる残
差引	1,947千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
3 多文化交流事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めました。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 地域ヒアリング等での情報収集やボランティアの活躍の場の発掘など地域との連携を図りました。また、外国ルーツの若者の生活や学習相談・支援を行う居場所を作るとともにボランティア育成等を実施しました。</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 ア 日本語教室開催 ・定期教室(前期5~10月、後期11~3月 各期約30名) ・はじめての日本語教室(1期10回×6期 各期約10名) イ 日本語ボランティア養成事業(区内ボランティア教室と連携) ブラッシュアップ講座・多文化共生ボランティア講座(計12回) ウ ボランティア日本語教室連絡会の開催(年2回)</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業 ア 多文化共生理解事業(年12回) イ 多文化フェスタ(10月31日) 【中止】</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業 地域イベント等の通訳協力(6件)やチラシ翻訳(8件)を実施</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施(34件)</p> <p>(6) その他運営・事務費等</p> <p><参考>(国際局区配予算)</p> <p>①地域連携強化事業(5,500千円(地方創生推進交付金)) 外国人集住地域の課題解決を図るコーディネーターが、地区定例会の参加や連携地域のイベント支援、外国人人材の活用に向けたセミナー等を実施。</p> <p>②情報提供強化事業(600千円(外国人相談対応強化事業)) ハード面の整備等による感染症対策等の情報提供の強化</p>
予 算 額	8,200千円	
決 算 額	7,223千円	
差 引	977千円	
所 管 課	地域振興課	



はじめての日本語教室の様子

4 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1 まちづくり推進事業  碑もとく絵地図 西洋スポーツ流入編		<p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市の中心です。安心して生活し、働き、訪れたいくなる魅力的な中区の実現を目指してまちづくりを進めました。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行いました。また、令和3年度は地域資源を活かし、関内・関外エリアの回遊性の向上を目指した取組を進めました。</p> <p>(1) まちづくり対応事業</p> <p>ア 長者橋歴史案内板を製作・設置し、地域資源の周知を行いました。</p> <p>イ 地域団体等と連携し、古地図を活用した地域の回遊性を高めるイベントを企画しました。</p> <p>※オンラインイベントに変更して実施（動画公開日：3月19日）</p> <p>(2) 地域まちづくり活性化事業</p> <p>地域でまちづくり活動を行う区民や団体に対し、ルール・プラン策定や策定後の運用等の支援を行いました。（通年）</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業</p> <p>まち歩きや小中学生の校外学習向けに配布している「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第7版及びスポーツ特別版の配布を行いました。</p> <p>また、「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第7版の外国語版（英語・中国語・ハングル 計8,000部）を作成し、配布しました。</p>
予算額	3,004千円	
決算額	2,390千円	
差引	614千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2 自治会町内会活動支援事業  自治会町内会加入促進チラシ		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会の取組を支援しました。また、市民局や中区連合町内会長連絡協議会と連携し、加入率の維持・向上に努めました。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進</p> <p>ア なか区民活動センターでのイベント等で、加入促進チラシや加入申込書を配布</p> <p>イ 転入時に、加入促進チラシや加入申込書を配布</p> <p>ウ 新規建築マンションや未加入マンションの管理組合を対象に新たな自治会町内会設立や町内会への加入を働きかけ</p> <p>(2) 掲示板整備補助事業</p> <p>地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供に寄与する掲示板の整備を支援することを目的に、その経費の一部を補助しました。</p> <p>補助件数：27基（新設3基、修繕24基）</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会</p> <p>市政及び区政に多大なご協力をいただいております。また地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表すため、永年勤続の会長に対し表彰を行い、全会長に記念品を送付しました。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感謝会は中止とし、表彰状・記念品贈呈を戸別訪問）</p> <p>受賞者数：10名</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援</p> <p>ア 自治会町内会実務担当者向け研修会【中止】</p> <p>補助金交付事務（補助制度や申請方法の説明）は個別に対応</p> <p>イ 自治会町内会と行政との連絡調整（区連会定例会運営等）</p>
予算額	2,843千円	
決算額	2,044千円	
差引	799千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3 商店街魅力アップ事業  マリンFMによる放送の様子		<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力が高まり賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行いました。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業</p> <p>ア 商店街紹介ホームページの更新 令和3年度に作成したPR動画など、商店街情報を更新</p> <p>イ 商店街PR動画の作成・放映 横浜中華街エリア商店街PR動画を作成し、YouTube等へ掲載</p> <p>ウ 広報よこはまなか区版2月号での商店街特集記事を掲載</p> <p>エ 地元メディアを活用した情報発信 ・マリンエフエムの番組(月2回・全8回)に商店街関係者が出演し、商店街の魅力をPR (タウンニュースにおいて事前に放送内容を掲載)</p> <p>(2) よこはまウォーキングポイントと連携したPRの実施 よこはまウォーキングポイント歩数計アプリのミッション機能を利用したイベントを「横浜中華街エリア」で開催(4月～6月) ・ミッション挑戦者数5,354人(全15店舗合計)</p> <p>(3) ハローよこはまへの商店街ブース出店【中止】</p> <p>(4) 商店街連携モデル事業「小学生の商店街お仕事体験」【中止】</p> <p><参考>(経済局区配付予算)</p> <p>・商店街活性化イベント補助金(商店街実施イベントに対する補助金) 交付団体:22団体</p> <p>※予算超過の理由 消費喚起及び商店街利用者の拡大を目的に、地元メディアを活用した情報発信を行ったことによる委託料等の増</p>
予算額	1,500千円	
決算額	4,000千円	
差引	△2,500千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4 スポーツ・青少年事業  インクルーシブスポーツ体験会		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、地域の関連団体と連携して事業展開しました。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業</p> <p>ア 区スポーツ協会活動支援事業 各種スポーツ団体が加盟する区スポーツ協会へ事業費を補助</p> <p>イ 健康づくり推進事業 ラジオ体操講習会(7月10日、42人参加)、ランニングクリニック【中止】</p> <p>(2) 大規模スポーツイベントを契機とした関連事業</p> <p>ア ラグビーワールドカップ2019レガシーに関連した事業 小学生ラグビー教室(1月～2月、大鳥小ほか4校実施)、YC&ACラグビー教室【中止】</p> <p>イ 東京2020大会を契機としたインクルーシブスポーツ推進【新規】 インクルーシブスポーツ体験会(大さん橋ホール、6月12日、約680人来場)、ポッチャセットの購入(区内小中学校全14校へ配布)</p> <p>(3) 青少年育成事業</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成の取組を行う団体に、事業費を補助【申請なし】</p> <p>イ 青少年の交流促進 なかくっ子クルーズ(6月25日、間門小116人参加)、小学生フットサル大会【中止】</p> <p>(4) ウォークラリー推進事業 街並再発見と健康づくりを目的に地域主体で開催(6月12日、188人参加)</p> <p>(5) 中区ジュニアダンスステージ事業 青少年対象のオールジャンルのダンスイベント【中止】</p> <p>※予算残の理由:新型コロナ感染拡大に伴う事業の中止による委託料の残</p>
予算額	4,997千円	
決算額	3,474千円	
差引	1,523千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進しました。また、中区読書活動推進目標に基づき地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進しました。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター）</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 ジャックで過ごす楽しい1日（6月・登録団体や街の先生の作品展・ワークショップ約1,200人参加）、中区民利用施設スタンプラリー（7月23日～9月5日約1,200人参加）、センター祭り【中止】、街の先生ガイド発行（3月）、登録団体との連携講座（年5回）、街の先生オープン講座（年4回）、団体支援講座（年2回）等</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌「なかぼぼら」の発行（隔月発行） 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援（月2回）</p> <p>(2) 生涯学習支援事業 人材育成講座「影絵劇団員養成講座2期生募集」（7～8月） 街歩き講座「中区タウンピクニック」（5月25日、25人参加、他2回【中止】）</p> <p>(3) 読書活動推進事業</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会（6月、12月）及び「なか区ブックフェスタ」の開催（10～11月、29団体参加）</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 ハローよこはまへ出展【中止】、読書関連イベント開催【中止】</p> <p>(4) その他 文化活動支援事業として共催（4件）、後援（12件）等、事業の支援</p>
 <p>ジャックで過ごす楽しい1日 なか区民活動センター会場</p>		
予算額	2,766千円	
決算額	3,289千円	
差引	△523千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
6 開港記念会館事業		<p>横浜市開港記念会館は、中区公会堂として貸館業務を行うとともに、イベント開催及び多言語リーフレットの作成・配布等により建物の魅力を市内外にPRし、利用者及び見学者の増加に向けて取り組みました。</p> <p>(1) 見学者向けリーフレットの配布 施設見学者向けにリーフレット（日本語）を配布しました。 ・年間見学者数 6,151人（4月～11月） ・新型コロナウイルス感染症拡大により海外からの来客なし</p> <p>(2) イベント開催</p> <p>ア ジャックで過ごす楽しい1日（なか区民活動センターと共催） フォトラリー、クイズラリー、記念講演、作品展など実施 実施日：6月5日、参加者数1,170人（延べ人数）</p> <p>イ ミステリージャックツアー（なか区民活動センターと共催） 館内ボランティアガイドによる通常非公開の地階・時計塔など案内 実施日：11月15日、参加者数 48人</p> <p>ウ ファイナルウィークイベント 館内撮影スポットの案内、普段入れない2階「特別室」での写真撮影など 実施期間：11月23日～11月30日</p> <p>(3) 館内ガイドツアー動画をHPで公開 ボランティアガイド「ジャックサポーターズ」による館内ガイドを動画撮影し、本市HPで公開</p> <p>《参考：開港記念会館改修工事（市民局）》 建物全体（屋根、外壁、床、壁、天井等）の経年劣化に伴う修理工事、及び施設配管等の長寿命化やトイレの洋式化などの近代化・機能向上に係る部分の改修工事（工事期間：令和3年12月から令和5年12月）</p>
 <p>ジャックで過ごす楽しい1日 時計塔登り</p>		
予算額	1,690千円	
決算額	1,445千円	
差引	245千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容	
7	にぎわい・魅力アップ事業	<p>中区民の交流と調和による地域連帯の醸成と、区民の健康増進を目的に行われる中区民祭り「ハローよこはま2021」を支援するとともに、中区の魅力あるスポットを発見・再確認するため、中区って「イイネ！」フォトコンテスト2021を実施しました。</p> <p>(1) 中区民祭りハローよこはま2021 「子どもや青少年の創造性育成」「さまざまな世代による交流」「国際都市横浜としての多文化共生」「スポーツや文化活動の振興」及び「区民団体等の活動発表の機会創出」を目的に開催している、中区民祭り「ハローよこはま」は、10月10日(日)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来場者・出店者・出演者等の安全面を考慮し、開催を中止としました。</p> <p>(2) 中区って「イイネ！」フォトコンテスト2021 写真をとおして、区民自らが魅力発信及び魅力再発見し、地域への愛着や誇りをはぐくみ、ふるさと意識の醸成に寄与しました。 ア 作品募集期間：令和3年11月5日～令和4年1月14日 イ 応募作品数(140作品) 一般部門(高校生以上)：123作品 小中学生部門(撮影時小中学生)：17作品 ウ 入賞・佳作作品展示 期間：令和4年3月22～29日 場所：横浜市役所展示スペース エ 表彰式 日時：令和4年3月22日(火)16時より 会場：横浜市役所アトリウム オ 特別サポーター：横山剣さん(クレイジーケンバンド)</p> <p>※予算残の理由 新型コロナウイルス感染拡大に伴うハローよこはまの中止による補助金の残</p>	
	一般部門入賞作品		
	予算額		3,251千円
	決算額		488千円
	差引		2,763千円
所管課	地域振興課		

事業名		事業内容	
8	都市間交流事業	<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげました。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市：友好交流協定(平成26年3月締結) ア ダイナミック周年事業(飯能市の方を対象とした中区ツアー)は新型コロナウイルスの感染拡大により【中止】 イ 両都市の交流をPRする動画を作成し、データを関係団体にて共有。中区役所では1Fデジタルサイネージで放映</p> <p>(2) 群馬県嬬恋村：友好交流協定(平成28年2月締結) 嬬恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰行事を契機に、相互の更なる友好関係の発展を目指し、友好交流協定を締結しました。 新型コロナウイルス感染拡大により未実施</p> <p>(3) 岩手県釜石市：友好交流協定(平成26年3月締結) 新型コロナウイルス感染拡大により未実施</p> <p>(4) 仁川広域市中区：友好交流協定(平成22年3月締結) 新型コロナウイルス感染拡大により未実施</p>	
	区役所1Fにて放映している飯能市との交流PR動画		
	予算額		1,000千円
	決算額		216千円
	差引		784千円
所管課	区政推進課		

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1 人材育成推進事業 		市民の視点に立った行政サービスの提供を行うため、職員の区民サービスへの意識向上に取り組みました。 (1) CS・ES向上、人材育成事業 職場内でCS向上の取組を推進するためCS向上研修（3年11月18日、22日）を実施しました。職員参加型プロジェクトの実施（7プロジェクトが活動）や人材育成研修を実施し、職員満足度の向上を目指しました。 また、コロナ禍における区役所業務のDX推進のため、ICT機材の資機材を調達しました。（ノートパソコン30台、大型ディスプレイ1台等） (2) 人権啓発事業 人権が尊重される社会を目指し、区民や区内企業を対象にした人権啓発講演会を開催しました。また、職員の人権意識の向上を図るため、職員研修を継続して実施しました。 ア 中区人権啓発講演会の開催（オンライン配信（申込者数120人）） イ 人権啓発研修の実施（全体会2回、グループ別研修40回） (3) 区民顕彰事業 地域活動等に積極的に取り組み、活力あふれる中区の実現に貢献した区民の功績を表彰しました。（2団体、3名）
	予算額	1,000千円
	決算額	5,274千円
	差引	△4,274千円
	所管課	総務課

※予算超過の理由
コロナ禍における区役所業務のDX推進のためのICT機材の購入等

事業名		事業内容
2 利用しやすい区役所づくり事業 		区庁舎における新型コロナウイルスへの対策を実施しました。あわせて、庁舎を安心して利用できるよう警備や案内を行うスタッフを配置しました。また、庁舎内の一部をレイアウト変更し、環境改善を実施しました。 (1) 利用者環境等の改善 新型コロナウイルスの感染症対策や警備・案内の業務委託のほか、庁舎環境の改善も実施しました。 ア 新型コロナウイルス対策 (ア) 庁舎出入口へのアルコール消毒液の設置 (イ) 各窓口における感染対策を実施（ビニールカーテン・消毒液の設置）等 イ 総合案内スタッフと連携して、警備や窓口案内等を実施 ウ 待合環境の向上 (ア) 生活支援課窓口案内システム導入 (イ) 本館2階へのスポットクーラー設置（7月～9月） エ 区役所駐輪場の混雑時に、区役所前の民間駐輪場を利用された来庁者にサービス券を交付 (2) シビックプライドの持てる区庁舎づくり こども家庭総合支援拠点設置に向けた執務室等の改修業務委託を実施するなど、区庁舎環境の向上を図りました。
	予算額	13,526千円
	決算額	21,907千円
	差引	△8,381千円
	所管課	総務課

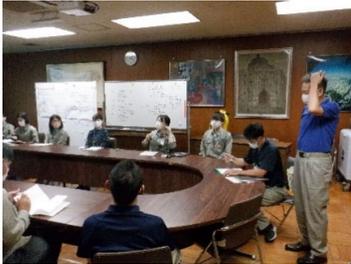
※予算超過の理由
新型コロナウイルス感染症対策費及びこども家庭総合支援拠点設置に向けた執務室等の改修業務委託費の増

事業名	事業内容
<p>3 広報・案内事業</p> <div data-bbox="92 533 450 616" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <p>1F総合案内に設置された看板</p>	<p>様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげました。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口専任のスタッフを配置しました。</p> <p>(1) 広報相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 区ホームページでの区政情報発信 イ ツイッターによるイベント情報等の発信 (フォロワー数：7,124人(令和4年3月末)、発信件数：230件) ウ マスコットキャラクター「スウィングー」によるプロモーション活動 エ 庁内職員のための広報研修【中止】 オ 市民からの提案受付(918件) カ 団体からの陳情対応 <p>(2) 総合案内運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 1階総合案内に受付専任スタッフ(委託)を配置 (案内実績1日平均：161件) イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ並びにコロナ関係支援チラシ配架(999件) ウ 1階ロビーのデジタルサイネージによる動画及び画像の放映(47件)
予算額	4,789千円
決算額	4,602千円
差引	187千円
所管課	区政推進課

令和4年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況

1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

※下線が引かれている部分は、新型コロナウイルスの影響によるものです。

事業名		事業内容
1 地域防災力向上事業		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図っていきます。特に区民の自助・共助の意識醸成のため、コミュニティFMを活用した防災情報発信等に引き続き取り組みます。また、共同住宅に対する啓発を重点課題として取り組みます。さらに、各地域防災拠点に令和2年度に実施した女性視点ワーキングの検討結果を踏まえ、女性視点を取り入れた地域防災拠点の運営を進めます。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域や企業に対する減災支援(減災説明会2回、防災まち歩き1回) イ 共同住宅に特化した啓発 新規 共同住宅の管理組合や管理会社を対象にした防災・減災広報等(3回) ウ 絆月間(3月)における防災・減災講演会 エ 地震・風水害・崖防災対策等の啓発 マリンFMや広報よこはま等を活用した防災情報の発信 オ 即時避難指示対象区域内の住民に早期の避難行動等を啓発(6月) <p>(2) 災害時の担い手育成事業 防災出前教室(減災出前講座、防災体験教室) 中学生に地域防災拠点支援ガイド(日英中)、「はまっ子防災ガイド」等を活用した啓発(9月～)</p> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災訓練 外部講師を招いた本部運営訓練等の実施 イ 地域防災拠点の充実・訓練の実施及び本部体制の充実・災害対策 (ア) 地域防災拠点に女性視点WGの検討結果を踏まえた備品(パーテーション・蓄光テープ等)を独自に購入、配備予定 拡充 (イ) マリンFMの緊急割込み放送等を活用した情報受伝達手段の活用
 <p>本部運営訓練の様子</p>		
予算額	8,503千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって、高齢者を狙った振り込め詐欺の防止など、地域の実情に応じた防犯対策を推進します。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業(232千円) 中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 総会の開催(5/23) イ 各種防犯キャンペーンの実施(10月) ウ ハローよこはま2022への出店(11月13日) エ 「寄席de防犯」の開催(5年2月) オ 4警察、4防犯協会・防犯協力会、関係機関との連絡調整 地域自主防犯活動委員会の開催(年5回) <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール、ホームページ、広報よこはま、区役所デジタルサイネージなどを利用して広く区民に配信します。※中区安全・安心メール登録者数：1,501人</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業(1,980千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等 イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、 市立小学校(4月に新1年生860名へ防犯ブザー配付) <p>(4) 防犯教室・講座事業(427千円) 地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。</p>
 <p>防犯キャンペーン(10月)</p>		
予算額	2,639千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容		
3	放置自転車対策・交通安全啓発事業 	<p>区内で多発する自転車・バイクの放置及び高齢者や自転車の交通事故対策として、各警察署や地域等の関係団体と連携し、キャンペーン等の啓発活動を通して自転車等の放置防止と交通事故防止に取り組みます。</p> <p>(1) 放置自転車対策事業 (150千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・関内駅自転車等放置防止推進協議会の開催 (7月25日) イ 放置自転車等が多い場所への対策・検討及び協力 ウ 放置自転車等移動要望への対応 <p>(2) 交通安全啓発事業 (1,756千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区交通安全対策協議会への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・春の全国交通安全運動中区キャンペーン: 7月8日 一日警察署長とのトークをラジオ日本が収録・放送 イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月~) ウ スクールゾーン対策の実施 (6月~) エ 各団体への補助金交付 (5~6月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 保護者向け自転車マナー啓発リーフレットを保育園・幼稚園に配布 (8月) ク 中区役所内のデジタルサイネージに自転車マナー啓発を掲載 ケ 中区内のサイクルショップに自転車ルール啓発チラシの配布 <p><参考> (道路局区配付予算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等監視業務の実施 (4月~) ・スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室の中学校での開催 (7月19日) 		
		<table border="1"> <tr> <td>予 算 額</td> <td>1,906千円</td> </tr> <tr> <td>所 管 課</td> <td>地域振興課</td> </tr> </table>	予 算 額	1,906千円
予 算 額	1,906千円			
所 管 課	地域振興課			

事業名		事業内容		
4	ヨコハマ3R夢プラン推進事業 	<p>ごみと資源の総量を平成21年度比で全市的に10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」の達成に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進に取り組みます。特に、食品ロスの削減やワンウェイプラスチックの削減等の特定のごみの削減に重点を置き、区役所や学校、講演会などを通して区民の方々への啓発に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動 (228千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 区内各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会、中区分別相談窓口 イ 区庁舎内に設置する資源回収ボックスによるごみの資源化・減量化 小型家電、リユース文庫 (1,285冊)、水銀含有製品回収 (39個) 等 ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業: イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与 <p>(2) 中区クリーンアップ事業 (590千円)</p> <p>区民・事業者・ボランティア団体等による清掃を年3回に分散し、各回ごとにテーマを設定して実施 (9月~12月)</p> <p>(3) 美化運動支援事業 (368千円)</p> <p>まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援</p> <p>(4) まちの美化対策事業 (650千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ (年9回) や学校と連携した放課後クリーンアップ等の実施 イ 不法投棄防止に向けた啓発 ウ 外国人向けの啓発 (チラシ作成、施設見学会、分別講座) <p>(5) 美化推進者表彰 (250千円)</p> <p>まちの美化推進に貢献した個人・団体への区長感謝状の贈呈 (3月)</p> <p>(6) 温暖化対策事業 (150千円)</p> <p>打ち水キャンペーンや打ち水用具の貸与を実施【中止】</p>		
		<table border="1"> <tr> <td>予 算 額</td> <td>2,236千円</td> </tr> <tr> <td>所 管 課</td> <td>地域振興課</td> </tr> </table>	予 算 額	2,236千円
予 算 額	2,236千円			
所 管 課	地域振興課			

事業名		事業内容
5	初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業	<p>当該地域では、地元協議会と行政との連携・協働により、安全・安心のまちづくりが進められており、中区は、自主的な活動を行っている協議会に対して、活動補助金の交付及びまちづくりNPO法人を通じた支援を行っています。また、都市整備局は小規模店舗の借上げやまちづくりの推進、文化観光局は現代アートを通じた賑わいづくり、市民局は環境浄化・地域防犯力向上を目的とした活動の支援を行っており、これらの関係局とも連携しています。</p> <p>近年は、環境浄化が進む一方、新たな住民の増加により過去の事実やまちの安全安心に対する認識が薄れる恐れもあり、予断を許さない状況です。また、まちの活性化に向けて参画者・担い手を一層増やしていく必要があります。</p> <p>地域に関わる団体だけでなく、アーティスト・学生等とも連携した子ども関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動が活発化しており、このような活動の中心となる協議会等への支援を通じ、魅力あるまちの形成を目指します。</p>
		<p>(1) 環境浄化活動支援補助金 (500千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 協議会定例会等の開催 イ 防犯啓発活動等の実施 (防犯パトロール、防災訓練等) ウ 広報活動 (まちづくりニュースの発行等) <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 協議会活動の企画、運営支援 イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援
予 算 額	2,000千円	
所 管 課	区政推進課	



令和3年度の防災訓練の様子

事業名		事業内容
6	花・緑で まちの環境改善事業	<p>本事業では、区民（自治会、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行うものです。</p> <p>また、夏場の省エネや温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置や、種まきイベント、園芸講習会を開催します。</p> <p>さらに、来庁者へのおもてなしを目的として、区役所前の花壇やプランターの植栽整備を行います。</p>
		<p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業 (550千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 花苗提供 (1,800株) イ プランター設置・維持管理 (11箇所) 実施予定箇所 花咲町(音楽通り交差点付近)、本牧埠頭交番前、長者町(長者町5丁目交差点付近)、西の橋、打越橋山手駅、開港広場公園、鷺山公園、山下町公園、柏葉公園、竹之丸(竹之丸保育園付近) ウ 種まきイベント(春・秋) (6箇所) 実施予定箇所 錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園 エ 花緑のカーテン設置 (4箇所) 実施予定箇所 山手保育園、横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所 <p>(2) 普及啓発事業 (50千円) 園芸講習会 (年2回) 概 要 9月 秋季園芸講習会 5年2月 冬季園芸講習会 参加予定者数各25人</p> <p>(3) 区役所おもてなし事業 (450千円) 区役所前の花壇やプランターの植栽整備</p>
予 算 額	1,050千円	
所 管 課	中土木事務所	



プランターへの花植えと看板の作成 (竹之丸保育園)

事業名		事業内容
7 食の安全・安心事業		<p>食品取扱施設に対する監視指導及び衛生教育、消費者に対する情報発信等により、食中毒の発生を抑えるとともに、発生した食中毒の拡大・再発を防止します。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保支援事業 (847千円)</p> <p>ア 食品取扱施設の衛生対策 (ア) 効果的な監視指導 飲食店が集中する中華街やホテル等に対し、迅速検査を併用した監視指導や、多言語チラシを活用した食中毒予防・HACCPに基づく衛生管理の啓発等を実施します。 (イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導及び県条例改正周知大規模イベント等での食品の衛生的な取扱いを指導します。 また、県条例改正による許可基準の変更について周知します。</p> <p>イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援 健康被害のリスクが高い高齢者・乳幼児等が利用する給食施設への啓発・指導を行います。(9月～12月予定)</p> <p>ウ 新型コロナウイルス等感染症の拡大予防対策 食事を伴う施設へ、対策の周知・啓発を行います。</p> <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業 (388千円)</p> <p>ア 食品衛生講習会等 食品取扱業者等に向けて啓発を行います。 (講習会：6月～7月 5回130人)</p> <p>イ 区民向け啓発等 庁舎内での動画上映やパネル展、広報等により啓発を行います。</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン 「ハローよこはま」にて食中毒予防の注意喚起・啓発を行います。</p>
予 算 額	1,235千円	
所 管 課	生活衛生課	



監視指導時に配布する中国語チラシ

事業名		事業内容
8 動物適正飼育推進事業		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組めます。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (515千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会と連携して、犬の飼い主への啓発を実施します。(4月) 【中止】</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、中区獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者への啓発を実施します。</p> <p>ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携し、散歩中の飼い主に対する啓発、指導を実施します。(2回実施、5～6月)</p> <p>エ 飼い主向け講習の実施等により、動物の適正な飼い方に係る知識の普及を行います。</p> <p>オ 区民が飼い主のいない猫対策として実施する地域猫活動の支援や機材の貸出しを行います。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (296千円)</p> <p>ア 啓発講習会を実施します。</p> <p>イ 各地域防災拠点の拠点訓練におけるペット同行避難に関する展示や同行避難訓練等の実施について提案、支援します。</p> <p>ウ ペット同行避難の検討に既に取り組んでいる地域防災拠点の成果物を参考に、ホームページ等での啓発、ペット避難所開設キットの配備を推進します。</p>
予 算 額	811千円	
所 管 課	生活衛生課	



ペット避難場所開設キット

2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業		<p>誰もが安心して暮らせるまちにするために、地域が主体となり、生活課題等の解決に取り組めるよう第4期中区地域福祉保健計画を基に、地域の福祉保健に関する活動を推進します。</p> <p>(1) 中なかいいネ！推進会議の運営（405千円） 第1回推進会議を5月30日に開催しました。引き続き、区推進会議や地区別推進会議により、見守り力を高める「えん結び」と健康づくりの「元気いっぱい」の地域活動を推進します。</p> <p>(2) 地域支援チームによる13地区の支援 区社会福祉協議会、地域ケアプラザとの連携により、各地区の計画の取組を支援します。</p> <p>(3) 計画推進のための取組（1,239千円） ア 第4期計画の周知 第4期計画概要版と地区別計画を区民が集まるイベント等で配布するとともに、広報よこはまの連載やホームページ、SNS等で周知します。また、地域で活動している団体等に説明し、理解を広げます。 イ 中なかいいネ！発表会の開催 地域で行われている見守り等の助け合いやまちぐるみの健康づくりの取組を紹介し、その活動を他地区へ広げていきます。（5年2月）</p> <p>(4) 人材の育成（300千円） ア 地域人材の育成 地域活動者の活動の幅を広げ、団体間や自治会・町内会と協働するきっかけづくりのためのワークショップを開催します。（11月） イ 地域支援従事者研修 地域支援を行う、区・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員向けに研修を開催します。</p>
予 算 額	1,944千円	
所 管 課	福祉保健課	



第4期中区地域福祉保健計画
中なかいいネ！

事業名		事業内容
2 健康アシスト事業		<p>区民が自身の健康に関心を持ち、身近な健康づくりが実践できるよう、健康教育やウォーキング等の健康づくり活動の支援・啓発を行います。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業（953千円） 子育て働き世代を重点に、健康測定（体組成計等）や保健指導により健康づくりのきっかけを提供し、生活習慣病の予防に取り組みます。 （乳幼児健診、がん検診、健康づくりのイベント、子育て支援拠点の各会場にて実施）4か月児健診時に実施中</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業（535千円） 地域と協働し、子育て支援拠点等で講座を行い、各地区でのウォーキング活動を定着させます。10月頃改定冊子 発行予定</p> <p>(3) 中区健康づくり月間事業（元気フェスタ21）（250千円） 多くの人が集まるハローよこはまの場を活用し、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と連携した健康増進啓発活動を行います。</p> <p>(4) 妊娠糖尿病対策事業（150千円） 妊娠糖尿病既往者等の糖尿病ハイリスク者に対し、乳幼児健診等を活用した啓発および健康教育を実施します。</p> <p>(5) 食育推進事業（650千円） ア 年代別の個別食事相談や講座、食育イベントの開催 （7/21講演会実施 100名参加） イ 食育従事者向け研修、食育ネットワーク会議の開催</p> <p>(6) 歯科口腔保健対策事業（851千円） 新規 令和5年度から始まる「第3期健康横浜21」の分野別計画となる「横浜市歯科口腔保健推進計画」の策定をふまえ、あらゆる世代に向けた歯周病予防・オーラルフレイル予防に取り組みます。 （保健活動推進員等関係機関向け集団健康教育 16回実施 188名参加）</p>
予 算 額	3,389千円	
所 管 課	福祉保健課	



てくてくウォーキング事業
（歩行姿勢測定と
ウォーキングアドバイス）
@子育て支援拠点

事業名		事業内容
3	地域包括ケアシステム推進事業	<p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」(令和4年3月策定)に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症に優しい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 (674千円) 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援し、地域の交流・介護予防活動を支援します。 ア 老人クラブ連合会の行事支援 (9月:老人福祉大会(関内ホール小ホール)、10月:グラウンドゴルフ大会(小港南公園)、12月:ふれあい運動会(横浜武道館)) イ 老人クラブへの加入促進(加入促進グッズ(収納式反射リュック)の配布) ウ 敬老月間事業(9月)</p> <p>(2) 介護予防事業 (220千円) 普及啓発カレンダーを作成し、介護予防を目的とした通いの場や地域ケアプラザ等で配布(10月)</p> <p>(3) 認知症支援事業 (557千円) ア 介護者支援事業 ・臨床心理士相談の実施(年18回) ・介護者支援研修の実施(7月) イ 認知症サポーター企業等の認証</p>
	 <p>グラウンドゴルフ大会 (中区老人クラブ連合会)</p>	
予 算 額	1,451千円	
所 管 課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
4	障害児・者ネットワーク支援事業	<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくります。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (540千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。 ア 自立支援協議会の開催 イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 (310千円) ポレポレグッズ(障害者作業所製品)の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援します。 ア ポレポレグッズカタログの更新・増刷(7月データ更新、1,000部印刷、中区自立支援協議会ホームページに掲載) イ 中区障害者団体連絡会に事業運営費を補助(4月) ウ 連絡会に設置されている販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会の開催支援(年6回) エ ポレポレグッズの区役所内定期販売会支援(4月~第4金曜日開催) 7月よりSDGsマルシェでも販売開始 オ プロスポーツチーム(横浜エクセレンス、Y.S.C.C)と連携したポレポレグッズの販売(4月、6月、7月)</p> <p>(3) 障害理解推進事業 (110千円) 「共生社会の実現」(障害者差別解消法)に向け障害に対する理解を促進するため、地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。 ア インクルーシブスポーツ体験参加による障害理解の推進(5月29日) イ 区障害者団体連絡会主催のポレポレ祭りの開催(10月)</p>
	 <p>ポレポレグッズカタログ 「なかながいいよ」</p>	
予 算 額	960千円	
所 管 課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
5	みんなで子育て事業	<p>子育て中の方が身近な地域で安心して子育てができるよう、また、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所や地域の資源や特性を生かして、子育て支援を推進します。また、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子育てのできる環境づくりに取り組みます。</p> <p>(1) コンパス事業 (1,383千円) 新規 子育て不安を解消するため、専門家による子育て講座を開催します。併せて講座内容の動画を作成し、オンラインで情報提供します。 野毛地区センター (10月22日)、本牧原地域C P (11月12日) 簗沢地域C P (12月10日)、麦田地域C P (1月21日)</p> <p>(2) 育児支援事業 (937千円) 地域の子育て中の親子に対し、区内公立保育園で園庭開放、育児講座 育児相談、絵本貸出を実施します。</p> <p>(3) 外遊び応援事業 (100千円) 体験を通じて子どもとの遊び方や関わり方を知り、子育ての仲間づくりができるよう、身近な公園で外遊びの機会を作ります。 (5月18日、6月8日実施、計56人) (今後9月28日、10月26日、3月15日実施予定)</p> <p>(4) 保護者向け保育所等情報提供 (288千円) 「中区保育所等のしおり」を3,500部作成し、認可保育所、地域ケアプラザ等へ配布します。(10月配布予定)</p> <p>(5) 「おでかけスポットマップ」の作成 (596千円) 日本語版を4,000部作成します。(3月)</p> <p>(6) 外国人向け両親教室 (103千円) 在住者の多い中国語を母語とする方向けの両親教室を実施します。 (6月9日実施 2人) (今後12月8日実施予定)</p> <p>(7) 中国語窓口案内補助 (3,291千円) 各種手続・相談等に対応するため、窓口到中国語通訳を配置します。</p>
		 <p>外遊び応援事業 (横浜公園)</p>
予 算 額	6,698千円	
所 管 課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
6	みんなでSTOP ザ虐待	<p>安心して子育てができるよう地域での見守り力づくりを推進します。また、こどもや保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。</p> <p>(1) 児童虐待対応力向上事業 (60千円) 児童虐待対応力強化のため区職員、関係機関・団体を対象に弁護士をスーパーバイザーとして事例検討会を実施します。 (5月20日実施 26人) (今後5年1月20日実施予定)</p> <p>(2) 赤ちゃん学級 (432千円) 1歳未満の第1子の養育者を対象に、7会場(各会場年10回)にて仲間づくりや子育ての知識を得ることのできる教室を開催します。</p> <p>(3) 乳幼児健診の充実 (1,772千円) 乳幼児健診について、きょうだい児連れの方等が受診しやすいように保育ボランティアを配置します。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により情報提供を行います。</p> <p>(4) 育児を学ぶ教室・講座 (528千円) 体罰によらない子育て講座 (10月31日、11月7日、11月18日、11月28日 計4回の連続講座形式) などを開催し、親が育児について相談したり学ぶ機会を提供します。</p> <p>(5) 相談業務強化事業 (1,540千円) 区の状況を踏まえ、児童扶養手当現況届等の手続に来庁する機会等をとらえ、生活状況の聞き取りや各種手続の支援をきめ細やかにを行うために相談員を配置します。</p> <p>(6) 学齢期家庭向け支援事業 (718千円) 養育支援が必要な家庭の子ども自身が困ったときに自らSOSを発信し、相談機関につながるができる動画の配信をします。 (市バスデジタルサイネージの活用、小中学校の全体集会での動画の周知と啓発カードの配布を予定)</p>
		 <p>赤ちゃん学級 (中本牧コミュニティハウス)</p>
予 算 額	5,050千円	
所 管 課	こども家庭支援課	

3 多文化共生のまちづくり

事業名	事業内容
<p>1 多文化情報発信事業</p>  <p>多言語広報紙</p>	<p>人口の約1割を占める外国人住民に対して多言語広報紙やホームページ等により、わかりやすくタイムリーに行政情報・地域情報を発信します。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業 (2,919千円)</p> <p>ア 発行回数及び発行部数</p> <p>(ア) 「Naka Ward Town News」(英語版) 3回 各4,100部</p> <p>(イ) 「春夏秋冬」(中国語版) 3回 各4,500部</p> <p>(ウ) 「中区多言語広報紙」(日本語版) 3回 各1,000部</p> <p>7月に発行を予定していた夏号は、新型コロナウイルス感染症の影響によるBCPに基づき休刊</p> <p>イ 内容：中区在住の外国人住民に役立つ生活情報、行政情報等</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業 (1,124千円)</p> <p>ア 言語：英語、中国語、ハンガール、やさしい日本語</p> <p>イ 回数：月1回</p> <p>ウ 内容：広報よこはま・なか区版掲載の特集・イベント情報抜粋、生活情報等、新型コロナウイルス感染症関連</p>
<p>予算額</p>	<p>4,043千円</p>
<p>所管課</p>	<p>区政推進課</p>

事業名	事業内容
<p>2 多文化共生まちづくり事業</p>  <p>3年度多文化共生交流イベントの様子</p>	<p>「中区多文化共生推進アクションプラン」に基づき国籍やルーツによらず誰もが地域の一員として、安心して自分らしく暮らせる多文化共生のまちづくりを進めます。また、外国人住民の居住実態や、生活意識・ニーズを把握し、多文化共生の取組・施策立案等の基礎資料として活用します。</p> <p>4年度も引き続き、第2期アクションプラン(計画期間：3年度～6年度)の基本目標「基礎的支援の充実」「地域とのつながりづくり」に基づき、施策を推進していきます。</p> <p>(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業 (500千円)</p> <p>区民・職員の多文化共生意識の醸成や各課が取り組む多文化共生施策の推進支援を行います。</p> <p>ア 職員向け「やさしい日本語」研修を実施します。(12月)</p> <p>イ 「共生社会」をテーマとした区民向け講演会を実施します。(2月)</p> <p>(2) 多文化共生交流促進事業 (250千円)</p> <p>区内の支援団体等と連携し、地域において日本人・外国人住民の交流を促進するイベントを実施します。(12月)</p> <p>(3) 多言語翻訳機器充実事業 (500千円)</p> <p>行政情報の多言語発信を充実させるため、文章を自動翻訳し10言語で閲覧できるアプリ「カタログポケット」の配信ツール(MCCatalog+)を導入しました。(4月)</p>
<p>予算額</p>	<p>1,250千円</p>
<p>所管課</p>	<p>区政推進課</p>

事業名		事業内容
3 多文化交流事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 (3,393千円)</p> <p>ア 地域での情報収集やボランティア活躍の場の発掘等による地域連携</p> <p>イ 外国ルーツの若者の居場所作りや、ボランティア育成研修等</p> <p>ウ 多文化共生ボランティアの養成 (日本語・学習支援、地域派遣等)</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 (1,604千円)</p> <p>ア 日本語教室開催 (前期：5～10月、後期：11～3月) 定期教室 (各全30回)、はじめての日本語教室 (10回/月)</p> <p>イ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (年2回)</p> <p>(3) 多文化共生理解の促進事業 (885千円)</p> <p>ア 多文化理解講座 (5月29日みらいストリート出展約1,200人来場)</p> <p>イ 中区多文化フェスタ開催 (12月17日・中区役所別館1階)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業 (616千円)</p> <p>自治会・町内会イベント等での通訳協力やチラシ翻訳等を実施</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 (748千円)</p> <p>各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施</p> <p>(6) 情報提供強化事業 (700千円) 新規</p> <p>新規転入時にラウンジで実施するタブレットによる生活ガイダンス 「くらし情報案内」コンテンツ作成 (生活情報、ごみ分別、日本語学習等)</p> <p>(7) その他運営・事務費等 (1,012千円)</p> <p><参考①> (国際局区配付予算) 地域連携強化事業 (5,250千円) 外国人集住地域での課題解決を図るコーディネーターが、地区定例会の参加や連携地域での多文化共生事業等を実施 (地方創生推進交付金・国費)</p> <p><参考②> (国際局区配付予算) 生活ガイダンス事業 (3,000千円) 新規 新規転入外国人向け生活ガイダンスの多言語化・動画作成等</p>
	<p>はじめての日本語教室の様子</p>	
<p>予 算 額</p>	<p>8,958千円</p>	
<p>所 管 課</p>	<p>地域振興課</p>	

4 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1 「中区愛」はぐくみ事業 新規		<p>広く中区で親しまれている区の花「チューリップ」やマスコットキャラクター「スウィングー」をはじめ、横浜開港の歴史と異国情緒を感じさせる街並みやスポット等、様々にあふれる中区の魅力を区民、区内事業者と連携し、発信・再発見することで、「中区愛」をはぐくみ、地域の活性化・元気づくりにつなげます。</p> <p>(1) チューリップであふれるまち事業 (1,000千円) 横浜公園や区民利用施設等へのチューリップの植付けや球根の配布を行い、区内が中区の花「チューリップ」であふれる取組を実施します。 ア 小学校・自治会町内会・区民利用施設等からニーズを聞き取り、植付けイベント等に活用するための球根配布を行います。 (5～7月：募集、10月下旬以降：配布) イ 区民と協働して横浜公園での球根植付けを行います。(11月)</p> <p>(2) 中区みんなのマスコット「スウィングー」事業 (560千円) マスコットキャラクター「スウィングー」を各種イベントに派遣するほか、PRグッズ等を作成します。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 (1,900千円) 区内に点在する「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑を紹介する街歩きマップ「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第8版の発行・配布に向けて、碑の解説動画などを作成しています。</p> <p>(4) 中区って「イイネ！」フォトコンテスト2022 (366千円) 中区内の“私だけが知っている”「中区の魅力」を写真に撮り、エピソードを添えて募集します(11月～)。中区に関わる人が魅力を発信し、中区の魅力を再発見し地域への愛着や誇りをはぐくみます。</p> <p>(5) 横浜マイスター技能魅力発信事業 (150千円) 中区に在住・在勤する横浜マイスターを小中学校や各種イベント等に派遣します。</p>
 <p>スウィングーのイベント派遣 (トーチでつながる駅伝大会の様子)</p>		
予 算 額	3,976千円	
所 管 課	区政推進課 地域振興課 中土木事務所	

事業名		事業内容
2 まちづくり推進事業		<p>中区にある歴史的・文化的資源や港・河川などの水辺等を活用した取組を進めることで、区の魅力向上につながるまちづくりを進めます。 まちづくりの推進にあたっては、区民等のまちづくり活動を支援し、様々な地域資源を活用することで、区民の地域への愛着を育み、更なるまちづくり活動へつなげます。 また、「SDGs未来都市・横浜」の実現のため、暮らしの中で取り組めるSDGsや脱炭素社会実現につながる身近な行動等の啓発を行うことで、区民の意識醸成を図ります。</p> <p>(1) 地域まちづくり活性化事業 (1,234千円) ア 関内関外エリアを中心とした地域の賑わいを生み出す取組を実施します。 イ まちづくり団体の定例会への出席などにより、ルール・プラン策定や策定後の運用、その他のまちづくり活動等の支援を実施します。緊急性や必要性の高い課題に、関係課等と連携して対応します。</p> <p>(2) SDGs推進事業 (400千円) 新規 横浜野菜の直売所「中区SDGsマルシェ」の開催を通じ、暮らしの中で取り組めるSDGsや脱炭素社会実現につながる身近な行動等の啓発、展示等を行います。また、区職員の意識醸成を図るため、研修等を実施します。 ア 「中区SDGsマルシェ」開催 (毎月開催。5月11日、6月8日、7月13日実施。各回300名程度) イ 職員研修の実施 (12月)</p>
 <p>中区SDGsマルシェ</p>		
予 算 額	1,634千円	
所 管 課	区政推進課	

事業名		事業内容
3	自治会町内会活動支援事業	<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めます。また、自治会町内会への加入を促すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進 (338千円) ア 区役所主催のイベントや地域でのイベントで加入促進チラシや加入申込書等の配布 イ 区役所や自治会町内会が未加入世帯で配布する加入促進チラシ加入促進物品の作成 ウ 新規建築マンション管理組合や未加入マンションの管理組合へ働きかけや、新たな自治会町内会加入や新規設立の支援</p> <p>(2) 町内会掲示板整備補助事業 (1,600千円) 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会 (860千円) 市政及び区政に多大なご協力をいただいております、また地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表するため、表彰式・感謝会を開催します。(5年3月9日予定)</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援 (545千円) ア 自治会町内会からの補助金交付事務等に関する個別相談 イ 自治会町内会と行政との連絡調整(区連会定例会運営等)</p> <p><参考> (市民局区配予算) ①地域活動推進費補助金・防犯灯維持管理費補助金 ②自治会町内会館整備補助金</p>
	 <p>自治会町内会加入促進チラシ</p>	
予 算 額	3,343千円	
所 管 課	地域振興課	

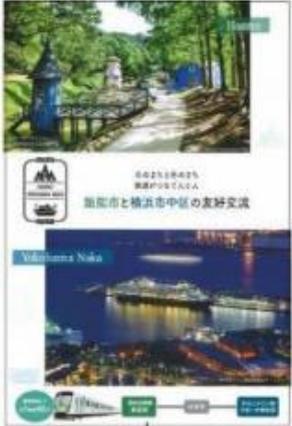
事業名		事業内容
4	商店街魅力アップ事業	<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行います。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業 (2,700千円) 新規 地域と密着した地元メディア(マリンFM、地域情報紙)を活用して、魅力紹介、セール・イベント情報等を発信し、地域での消費が促進されるような広報を行います。 ※マリンFM「ただいま商店街」:6~3月、全20回放送予定</p> <p>(2) ハローよこはまへの商店街ブース出店 (600千円) ハローよこはまの会場に設けられた商店街エリアに、区内商店街が、ブースを出店する支援を行い、中区商店街の魅力を広く区民や来場者にPRします。</p> <p>(3) 商店街連携モデル事業 「商店街と子ども」をキーワードにその地域で成長していく子どもたちが街の商店街に愛着を持つような仕組みをつくるため、学校・地域と連携した「小学生の商店街お仕事体験」を実施します。</p> <p><参考> (経済局区配予算) 商店街活性化イベント補助金 商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。</p>
	 <p>広報活動事業 (コミュニティFM放送)</p>	
予 算 額	3,300千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
5	インクルーシブ スポーツ推進事業	<p>東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、インクルーシブスポーツを推進することにより、障害者や高齢者等、これまでスポーツに取り組む機会が少なかった人にスポーツと関わる機会を提供するとともに、地域社会で生活する人々の交流の促進を図ります。</p> <p>そして、幅広い人々が一緒にスポーツに取り組み、時間、場所、経験等を共有することで、誰もがお互いを尊重し合い、いきいきと暮らすことができる共生社会の実現に向けた機運醸成を図ります。</p> <p>(1) 体験できる場の提供(1,340千円)</p> <p>ア 体験会の開催 ボッチャ、車いすバスケ、ブラインドサッカーのほか、障害者施設関係団体による物販等を行う体験会を開催 (大さん橋ホール、5月29日、約1,200人来場)</p> <p>イ 区内のイベントにおける体験ブースの設置 インクルーシブスポーツ連絡会等と連携し、区内で開催されるイベントに体験ブースを設置 ・ポレポレまつり(本牧いずみ公園、10月29日) ・ハローよこはま(象の鼻パーク、11月13日)</p> <p>(2) 交流大会の開催(855千円) 新規 幅広い区民が交流し、インクルーシブスポーツに関心がある区民が継続的に取り組むための目標となる区民ボッチャ大会の開催 (令和5年2月)</p> <p>(3) 講演会等の実施(150千円) 新規 パラリンピアン等による、インクルーシブスポーツや共生社会をテーマとした講演会等の実施</p>
		 <p>インクルーシブスポーツ体験会</p>
予 算 額	2,345千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
6	スポーツ・青少年 事業	<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、地域の関連団体と連携して事業展開していきます。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業(1,280千円)</p> <p>ア 区スポーツ協会活動支援事業 各種スポーツ団体が加盟する区スポーツ協会へ事業費を補助</p> <p>イ 健康づくり推進事業 ・ラジオ体操講習会の実施(6月18日、30人参加) ・ランニングクリニックの実施(5年1月~3月)</p> <p>(2) プロスポーツチーム等との連携事業(555千円)</p> <p>ア 中区スポーツ教室 イ YC&AC/中区ラグビー教室(5年2月)</p> <p>(3) 青少年育成事業(822千円)</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に、事業費を補助</p> <p>イ 青少年の交流促進 なかくっ子クルーズ(6月22日、立野小96人参加)、 小学生フットサル大会(5年3月)</p> <p>(4) ウォークラリー推進事業(445千円) 街並再発見と健康づくりを目的に地域(青少年指導員・スポーツ推進委員)が主体となり開催(5月29日、88組259人参加)</p> <p>(5) 中区ジュニアダンス推進事業(750千円) 青少年が仲間とともに大舞台で日頃の練習成果を披露する、オールジャンルのダンスイベントの開催を支援(7月31日、37団体参加)</p>
		 <p>中区文明開化ウォークラリー</p>
予 算 額	3,852千円	
所 管 課	地域振興課	

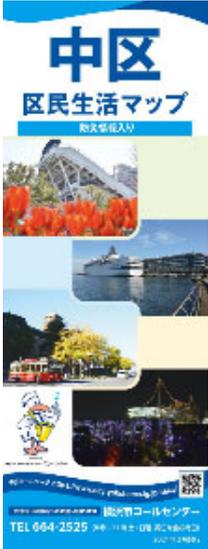
事業名		事業内容
7 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。また、街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進します。そして、中区読書活動推進目標に基づき地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業 (区民活動センター) (2,249千円)</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 なかく街の先生PR作品展(4月29日、約150人参加)、エコバッグぬり絵企画(4~6月アンケート回答約1,900人、ぬり絵応募約510人)フラワー&グリーンフェスタ(6月4・5日ガーデンネックレス事業約520人参加)、中区民利用施設スタンプラリー(10月15日~11月30日)、センター祭り(11月13日 中区民祭り同時開催)、登録団体との連携講座(年4回)、なかく活動ガイド発行(3月)等</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行(隔月発行)、チラシ一括発送の施設支援(月2回)</p> <p>(2) 生涯学習事業 (220千円)</p> <p>ア 人材育成講座「動画ボランティア養成講座」(7~8月 13人参加)</p> <p>イ 街歩き講座「中区タウンピクニック」(5月27日22人参加、他2回)</p> <p>(3) 読書活動推進事業 (267千円)</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会(第1回:6月24日 ※年3回予定)及び「なか区ブックフェスタ」の開催(10~11月予定)</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 ハローよこはま出店(11月13日)、読書関連イベント開催(10~11月)</p> <p>(4) その他 (150千円) 文化活動支援事業として共催、後援等、事業の支援</p>
 <p>中区民利用施設 スタンプラリー台紙</p>		
予算額	2,886千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
8 ハローよこはま2022		<p>中区民の交流と調和による地域連帯の醸成と、区民の健康増進を目的に中区民祭り「ハローよこはま2022」を開催します。</p> <p>開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できる、区民主体のイベントとすることで、区民同士の新たなつながりに寄与します。また、区内外の企業とも連携し、開催を通して中区の魅力や活力を広く発信することで、区外からの来街者も楽しめる、賑わいあるイベントとします。</p> <p>(1) 基本コンセプト</p> <p>ア 中区のもつ活力や魅力を広く発信していくことで、「区民はもとより、中区で働く人や横浜を訪れる人々も楽しめるイベントづくり」を心がけます。</p> <p>イ 中区民としての意識の高揚や、地域愛及び協働・自治意識の醸成をねらいとします。</p> <p>ウ 「SDGsに取り組むハローよこはま」と位置づけ、グローバルな課題を身近な問題として考える契機を提供することで、来場者にハローよこはまがSDGs達成に取り組むイベントであることをPRします。</p> <p>(2) 開催日・会場</p> <p>ア 日程:11月13日(日) 荒天中止</p> <p>イ 会場:象の鼻パーク</p> <p>(3) 実施内容(予定)</p> <p>ア 区民団体及び企業等によるブース出店</p> <p>イ 中区で活動する団体等によるステージ発表(横浜音祭り2022と連携)</p> <p>ウ SDGsを身近に感じるワークショップやインクルーシブスポーツ体験</p>
 <p>ハローよこはま2022のイメージ</p>		
予算額	2,925千円	
所管課	地域振興課	

事業名	事業内容
<p>9 都市間交流事業</p>  <p>飯能市・横浜市中区 友好交流PRチラシ</p>	<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につながります。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市 (344千円) : 友好交流協定 (平成26年3月締結) 平成25年3月に飯能市との間で鉄道相互直通運転が開始されたことを契機に、友好交流協定を締結。両都市で行われる地域イベント(祭り)への参加及び広報紙やSNS等を通じての相互PRに取り組みます。</p> <p>(2) 群馬県嬬恋村 (155千円) : 友好交流協定 (平成28年2月締結) 嬬恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰を契機に、友好交流協定を締結。新型コロナウイルス感染症の影響を配慮しつつ、引き続き協定に基づき事業を推進します。</p> <p>(3) 岩手県釜石市 (80千円) : 友好交流協定 (平成26年3月締結) 当区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、友好交流協定を締結。引き続き状況に応じた支援を実施します。</p> <p>(4) 仁川広域市中区 (121千円) : 友好交流協定 (平成22年3月締結) 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き協定に基づき事業を推進します。 中区庁長就任祝いビデオメッセージ送付 (7月)</p>
予算額	700千円
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1 区役所環境向上事業	 <p>ペーパーレス会議のイメージ</p>	<p>ぬくもりある行政サービスを提供することにより、区役所への区民満足度向上を目指します。また、来庁者にとってより利用しやすい庁舎となるよう環境改善を進めるとともに、デジタル化の推進による執務環境の向上にも取り組み、持続可能な区役所運営を図ります。</p> <p>(1) 人権啓発事業 (685千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区人権啓発講演会の開催 (令和5年3月予定) イ 責任職を対象とした研修の実施 (全体会2回、グループ別研修40回予定) <p>(2) 区民顕彰・CS向上・ES向上・人材育成事業 (286千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 顕著な活動を行った区民を顕彰します。(随時) イ CS向上研修等を通じた職場内でのCS向上の取組の推進 ウ 職員参加型PJの実施によるESの向上(5月～活動開始7グループ) エ 区民サービスの向上に向けた人材育成 <p>(3) 利用しやすい区役所づくり事業 (11,577千円)</p> <p>新型コロナウイルスの感染症対策や警備・案内の業務委託のほか、庁舎環境の改善も実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 庁舎出入口でのアルコール消毒や各窓口における飛沫感染対策 イ 総合案内スタッフと連携して警備や案内の実施 ウ 待合環境の改修等、庁舎環境の改善 (7月～9月スポットクーラー設置) エ 区庁舎本館の屋上ガーデンの植栽等を管理するなど、区民が親しみを持てる魅力的な区庁舎づくり <p>(4) 執務環境向上事業 (2,558千円) 新規</p> <p>DXの推進に向けたICT設備の導入等</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ペーパーレス会議の推進のため、会議室等にディスプレイの設置 (10月～) イ 外部とWEB会議を行うためのライセンス及び通信回線の運用(通年)
		<p>予 算 額 15,106千円</p> <p>所 管 課 総務課</p>

事業名		事業内容
2 広報・案内事業	 <p>区民生活マップ日本語版</p>	<p>様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるように、総合案内窓口業務に専任のスタッフを配置します。</p> <p>(1) 広報相談事業 (3,046千円) 拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 区民生活マップ日本語版の更新・発行 イ 区ホームページでの区政情報発信 ウ ツイッターによるイベント情報等の発信 (フォロワー数:7,397人、発信数:56件(7月末)) エ 庁内職員のための広報研修(7月29日) オ 市民からの提案受付(255件(7月末)) カ 団体からの陳情対応 <p>(2) 総合案内運営事業 (3,483千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 1階総合案内に受付専任スタッフ(委託)を配置 イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ並びにコロナ関係支援チラシ配架 ウ 1階ロビーのデジタルサイネージによる動画及び画像の放映
		<p>予 算 額 6,529千円</p> <p>所 管 課 区政推進課</p>

議題 4

令和5年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方（案）

令和4年度中区運営方針においては、「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んでよし、働いてよし、訪れてよし～」を基本目標に、目標達成に向けた5つの施策に沿って各事業に取り組んでいます。

令和5年度予算についても、この考え方を基本に編成します。

災害時における自助及び共助の推進や、安全・安心への取組を進めると共に、未来を担う子どもたちが健やかに暮らせるまちづくりに取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、新たな日常を見据えた、「まちの賑わい」と「つながりづくり」を意識し、地域活性化や共生社会の実現に引き続き取り組みます。

事業の立案及び推進に当たっては、SDGsの推進や区民の利便性を高めるための行政サービスのデジタル化の視点をもって、取り組んでまいります。

- 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり
（「防災」「防犯」「環境美化」等 関連事業）
- 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり
（「子ども」「高齢者」「障害者」「健康」等 関連事業）
- 3 多文化共生のまちづくり
（「多文化」等 関連事業）
- 4 地域の活力があふれるまちづくり
（「地域まちづくり」「地域活動」「スポーツ」等 関連事業）
- 5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり
（「区民サービス向上」「広報」等 関連事業）